

講座に関する注意事項

- 各講座とも定員になり次第、受付を終了いたします。
- 受講料のお支払い
指定の講座以外は、初回に受付でお支払いください。

「源氏物語 桐壺の巻を読む シーズン2」
「シーン別に学ぶ! 身近で役立つ英会話」
「ダイアログから学ぶ英文法と実践英会話」

は事前振込み制です。

- 開講後もしくは振込み後は、受講料の払い戻しはいたしません。
- 万が一、開講出来ない場合は開講の1週間前までにお申し出いただいた方にご連絡いたします。
- 開講が決まりましたら、事務局より受講票を郵送いたします。
- 受講票(ハガキ)は1講座1枚です。受講時に受付にお出しく下さい。
- 全回ご出席の方には「修了証」を最終回にお渡しいたします。
- 休講・補講
1、講師の都合および事故、台風、天災、交通機関遅延等によりやむを得ず休講する場合があります。
2、休講が事前に判明した場合は同志社大学HPおよび同志社TOKYO HUBサイトに掲載し各個人にメールにてお知らせし補講等の対応をいたします。
- 受講時は
1、講義中は携帯電話の電源をお切りいただくか、機内モードにしてください。
2、講座の録音、録画、写真撮影は講師の許可がある場合を除き禁止です。

東京オフィス セミナー室・会議室は一般の方にもご利用いただけます。

セミナー室、会議室の利用をご希望される方は、
事務室までお申し出ください。
料金等、ご利用の案内をいたします。

料金等貸し出しに関するご案内 URL

http://tokyo-office.doshisha.ac.jp/seminar_room/rental.html



会議室(24名)

同志社大学 東京オフィス

平日 9:00~17:00

〒104-0031

東京都中央区京橋2丁目7番19号

京橋イーストビル3階

(中央通り沿い 明治屋ビル向かい 1階にみずほ銀行)

TEL:03-6228-7260 FAX:03-6228-7262

E-mail: ji-toky1@mail.doshisha.ac.jp

<http://doshisha-tokyo-hub.jp/>

お申込みは

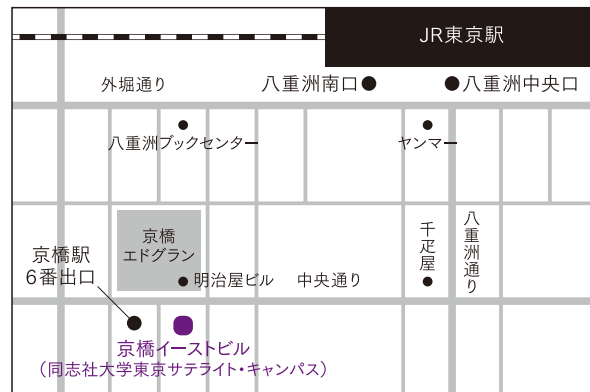
WEB 同志社東京HUBサイトお申込みフォームをご利用ください。

FAX 同封のお申込み用紙をご利用ください。

*電話でのお申込みは受けておりません。

同志社東京 HUB 検索 <http://doshisha-tokyo-hub.jp/>

講座受講のお申込み 開始
2017年8月22日(火)10時



- JR「東京」駅 八重洲南口 から徒歩6分
- 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目」駅7番出口 徒歩5分
- 東京メトロ銀座線「京橋」駅 6番出口 徒歩1分
- 都営浅草線「宝町」駅 A5~A7出口 徒歩3分

同志社講座

— 2017秋学期 —

8月22日10時
申込み受付開始

秋学期の注目講座

●「良心学の挑戦—新たな価値創造のために」
同志社大学 神学部 教授 小原 克博 他4名

●「アメリカ改憲史から考える憲法改正」
同志社大学 特別客員教授 阿川 尚之

●「電力システム改革と再生可能エネルギー
~その地域再生への貢献~」
京都大学大学院 経済学研究科 教授 諸富 徹

●「生物に学ぶ、未来の技術
—生物ソナー・コウモリの超音波センシング術」
同志社大学 生命医科学部 教授 飛龍 志津子

同志社大学 東京サテライト・キャンパス
Tokyo Satellite Campus, Doshisha University

「良心学の挑戦—新たな価値創造のために」

同志社にとって「良心」は設立者・新島襄から投げかけられた課題と言えます。しかし、それが同志社的なものにとどまることは許されません。西洋において長い議論の歴史を有する「良心」を現代世界の文脈において、どのように再活性化することができるでしょうか。本講座では「良心を覚醒させる知の連携と知の実践」(統合知および実践知としての良心)という目標のもとに、良心学が目指す地平を明らかにしていきます。

日本語の「良心」の元になった欧米語の「良心」(conscience)の原義は「共に知る」です。様々な価値の対立が高まりつつある時代の中で、現代世界の課題を共に知り、新たな価値創造を探っていく講座となることを目指します。

第1回 9月15日(金) 19:00~20:30 「良心学が目指すもの」

現代世界において良心を問うことが、なぜ必要なのでしょう。良心という概念の由来や、それが用いられてきた歴史的な背景(新島襄と良心の関係を含む)をたどりながら、様々な価値の対立を調停する能力として良心の可能性を考えていきたいと思います。良心の探求と実践のためには専門性の垣根を越える学際的な探求が欠かせません。現代社会が抱える課題のいくつかを具体的に取りあげながら、良心学が目指しているものを展望します。



小原 克博 こはら かつひろ
同志社大学神学部 教授、良心学研究センター長。同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士(神学)。専門はキリスト教思想、宗教倫理学、一神教研究。宗教倫理学会会長。著書:『宗教のポリテイクス—日本社会と一神教世界の邂逅』(晃洋書房/2010)など。

第2回 10月20日(金) 19:00~20:30 「社会福祉と良心」

社会福祉問題の背後には社会構造的課題がその根底にあります。一方でその解決には一人の福祉事業家の「良心」が起爆剤となって大きな変革を生み出してきたことは歴史が示しています。本講義では社会福祉の形成過程に「良心」がどのように影響を及ぼしているのかを明らかにします。そして現代の福祉課題(自殺問題等を挙げる予定)も射程に入れ、それらに社会的な「良心」がどのように関わっているのかについて議論していきます。



木原 活信 きはら かつのぶ
同志社大学社会学部 教授。東京都立大学助教授、トロント大学客員研究員を経て現職。専門は福祉思想・哲学。主著『J.アダムズの社会福祉実践思想の研究』(1998)(福武直賞受賞)、『対人援助の福祉エートス』(2003)『社会福祉と人権』(2014)、『弱さの向うにあるもの』(2015)

第3回 11月15日(水) 19:00~20:30 「良心の経済学」

グローバル経済の進展が、格差社会の深刻化をもたらすと共に、「貪欲資本主義」と呼ばれる経済システムの中で、モラルの荒廃と社会における信頼形成が崩壊しつつあります。この問題を解決するために、共感に基づく利他性の発露と社会を活性化する創造的活動を促進する社会構造の改革を議論する必要があります。



八木 匡 やぎ ただし
同志社大学経済学部 教授。専門:公共経済学、スポーツ経済学、文化経済学、教育経済学。京都大学経済研究所助手、名古屋大学経済学部助教授を経て現職。日本経済学会理事(2002年~2007年)、文化経済学会<日本>副会長(2016年~)。主著:European Economic Review等、海外学術雑誌等に論文を多数掲載。

第4回 12月22日(金) 19:00~20:30 「ビジネスと良心」

少し前のエンロン事件や最近の電通の女子社員自殺事件、さらにはいわゆるブラック企業問題など、企業の良心を問うような事案は枚挙に暇がありません。法人としての企業は様々な考え方を持つ経営者や従業員によって構成されています。構成員一人ひとりの良心と集団としての良心にはどのような関係があるのか、さらには企業の良心とはどのように形成されるのかを多面的側面から議論していきます。



北 寿郎 きた としろう
同志社大学大学院ビジネス研究科 教授。名古屋大学大学院工学研究科修了。工学博士。電電公社(現NTT)を経て現職。専門はイノベーションマネジメント。著書:『ケースブック 京都モデル—そのダイナミズムとイノベーションマネジメント』(白桃書房、2009年)

第5回 1月12日(金) 19:00~20:30 「科学技術と良心」

科学技術は人類に多大の恩恵をもたらすと同時に、環境問題や原子力発電所の事故など、社会に損害や不安を与える要因にもなっています。社会と科学技術との良好な関係を築くためには、自然科学の歴史を踏まえ、現代の科学技術の特質を理解することが必要です。ここでは、新島襄の学んだ自然科学、科学者の行動規範の変化、大学の役割などの話題を通じ、科学技術を「良心を手腕に運用する」ことの意味を考えてみたいと思います。



林田 明 はやしだ あきら
同志社大学理工学部環境システム学科 教授。1982年 京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了(理学博士)。研究分野は地球システム科学、古地磁気学・環境磁気学。岩石や堆積物の磁気特性を利用して、地球磁場の変動、年代測定、地殻変動、気候変動、環境汚染などの研究を行っている。

開催概要		
回数: 5回	定員: 100名	受講料: 一括のみ 15,000円
時間: 19:00~20:30	資料: 当日講師より配布いたします	

「源氏物語 桐壺の巻を読む シーズン2」

2017年春から始まった「桐壺の巻」を読むシリーズの2回目です。第5回は、旧くから宮中で伝わってきた、装束の着装技術である衣紋道を保存し研究する団体 衣紋道研究会京都支部の皆様による「十二単着装」見学会です。

第1回 9/7(木) 第2回 13:00~14:30 14:45~16:15

桐壺の巻は、源氏物語54帖の最初の巻です。四代にも及び御代の出来事を綴った、長編物語の幕開きにふさわしい巻です。前回は光源氏が数え三歳のとき、母君を亡くしたところまで読みました。後見者を失った子は、自らの美貌と才能で生きていくこととなります。テキスト「大島本源氏物語 桐壺」は活字が大きくて見やすく、また江戸時代のさし絵を載せています。今回は20ページ

から読んでいきます。名文の誉れ高い、野分の段から始まります。

源氏物語という難しいという先入観がありますが、ゆっくり読みながら、描かれている世界とともに、登場人物たちの日々の様子や当時の慣習や儀式などもご紹介いたします。初心者の方にも、また今回から参加された方にも、わかりやすくお話しします。屋下がりひと時、華麗なる王朝絵巻を紐解いてみましょう。

第5回 9/20(水) 14:00現地集合 ~15:30(予定)



■十二単着装の見学■
源氏物語の中には登場人物が身にまとう装束に関する描写があり、絵巻物などにも雅やかに表現されています。平安朝の風俗を垣間見て思い馳せることで、物語の楽しみはより深まります。今に伝わる十二単の世界を着装美演を通して学びましょう。

会場の源鳳院は、宮中において代々、装束の調進と着装を家職とした公家、山科家の邸宅として大正9年に建てられました。四季折々の自然が美しい庭を背景に、歴史を感じる開放的な広間にてゆったりとした時間をお楽しみいただけます。(衣紋道研究会京都支部会員 山科言親)

「一萬葉講座—大伴家持と越中万葉」

『万葉集』の編纂に関わったとされる大伴家持は、西暦718年生まれ説に従えば今年には数え年で1300年になります。家持が越中国守として赴任した現在の富山県高岡市では今年度、数々の記念事業が行われています。そこで今回は、越中国守赴任当初の大伴家持とその周辺のひとつの歌を読むことで、家持の人生やひととなりを振り返ります。具体的には、家持の越中赴任からの一連の歌(「越中万葉」と呼ばれます)を、はじめから順に読んでいきます。大和朝廷以来の武門の嫡流で高級官吏でもあった大伴家持がどんな歌を詠んでいるのか、興味がある方はぜひ。

第1回 11/16(木) 都からの旅立ちと新天地への赴任

天平18年、越中国守に任ぜられた大伴家持は、家族らと別れて都を出発し、北陸の地に赴きました。旅立ちに際しての別れの歌と、着任時の歓迎の宴での詠が残されています。

第2回 12/21(木) 弟の訃報と友との親交

越中に赴任して間もない家持に、都から弟書持の死の報せがもたらされます。一方で、越中には同族の大伴池主がおり、家持との間で数々の歌のやりとりを始めます。

第3回 1/18(木) 家持の病臥と池主との贈答

はじめての北国の冬を過ごした家持は春先に大病をわずらったようで、病み上りの不安な体調を嘆き、池主はそのような家持を歌で激励しています。

第4回 2/15(木) 上巳の宴と春の景色

「家持の歌日誌」には、病後の家持と池主との間で交わされた手紙と詩歌が日付順で掲載されています。漢詩文を多く含むこの間のやりとりにも二人の心からの交流が感じられます。

第5回 3/15(木) 都への思いと初夏の越中

初夏、一時帰京を目前にした家持は都に残した妻への思いにとらわれるとともに、あらためて越中の自然の景に目を向けます。雄大な風景がとても新鮮に感じられたことでしょう。

講師 **岩坪 健** いわたけ たけし
同志社大学文学部 教授



1957年京都市出身。1981年京都大学文学部国語学国文学科卒。1989年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。1991年「源氏物語古注釈の研究—中世源氏学の流れ—」で文学博士。1989年「源氏物語の二段階伝授について—河内方と四辻善成—一条兼良をめぐって」で第16回日本古典文学会賞受賞。2014年「源氏物語の享受—注釈・梗概・絵画・華道—」で第15回紫式部学術賞を受賞

開催概要	
回数: 全5回	定員: 100名
受講料: 5回一括のみ 15,000円	<small>※本講座は事前振込み制です。</small>
教材: 「大島本源氏物語 桐壺」 著・編(備) 和泉書院 価格¥1,404(税込)	
会場: 第1~4回 同志社大学東京サテライト・キャンパス セミナー室	
第5回	京都岡崎「源鳳院」 住所: 京都府京都市左京区岡崎法勝寺町77
<small>*源鳳院は旅館として営業されており、ご宿泊いただけます。講座を受講される方には開講決定後、特別価格等のご案内を予定しています。</small>	

講師 **垣見 修司** かきみ しゅうじ
同志社大学文学部 教授



1973年奈良県出身。1996年同志社大学文学部文化学科国文学専攻卒。関西大学大学院文学研究科国文学専攻修了 博士(文学)。研究分野: 万葉集を中心とする上代日本文学の研究。2009-2012 高岡市万葉歴史館研究員を経て2013年より現職。2011年第4回萬葉学会奨励賞受賞。著作[論文]「天象の美」(「美の万葉集」高岡市万葉歴史館論集15、笠間書院)

開催概要	
回数: 全5回	
定員: 100名	
時間: 13:00~14:30	
資料: 当日講師より配布いたします	
受講料: 5回一括のみ 15,000円	

「アメリカ大統領と政治」

戦後の歴代アメリカ大統領からアイゼンハワー、ケネディ、ニクソン、カーター、レーガン、クリントンを取り上げ、彼らのリーダーシップや業績、そして映画との関係も議論してみたい。

第1回 10/12 木	第34代 ドワイト・デヴィッド・アイゼンハワー 第二次世界大戦の英雄アイク。100万ドルの微笑をもつ大統領のメディア戦略とは？
第2回 10/26 木	第35代 ジョン・F・ケネディ リンカーンと並んで最も頻りに映画に描かれてきた、悲劇の大統領。彼の虚像と実像は？
第3回 11/16 木	第37代 リチャード・ニクソン 帝王的大統領と呼ばれながら、スキャンダルに倒れたニクソン。あの映画の悪役のモデルにも！
第4回 11/30 木	第39代 ジミー・カーター 史上最高の元大統領と評価されるが、ハリウッドには無視され続け…。
第5回 12/14 木	第40代 ロナルド・レーガン ハリウッドからホワイトハウスへ。暗殺未遂事件を乗り越えた大統領の魅力は？
第6回 1/11 木	第42代 ビル・クリントン ケネディに憧れホワイトハウスへ。スキャンダルを乗り越えた夫婦の虚像と実像は？

「グローバル時代を読む

～目指すは経済名探偵～

グローバル時代といわれ久しい。グローバル化の反動が世界各所で起こっている。では、グローバル時代とはどのような時代なのか。日々世界で人々が繰り広げる事件、事象はグローバル時代の何を現しているのか、そしてどこに向かうのか。この謎解きへの挑戦は、本講座がめざす「経済名探偵」への一歩です。謎解きを可能にする力を身につけ、経済を通じて世の中の真相をつかむ力をつけましょう。

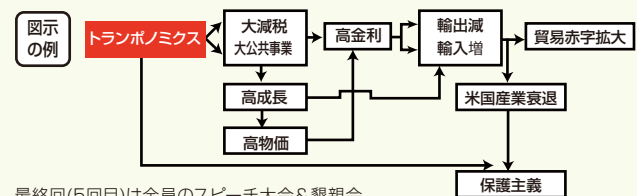
第1回 11/13 月	第2回 12/12 火	第3回 1/16 火	第4回 2/13 火	第5回 3/13 火
-------------------	-------------------	------------------	------------------	------------------

5回を通じて身につける「謎解きの技」

- 1、数字が語る経済物語の読解力
- 2、人びとが語るグローバル時代の物語のウソ発見力
- 3、経済情報から真相をつかむ力
- 4、常識とされている中から非常識を見破る力

講座の流れ

講義は、その折々の「トピック」「事象」から一つを謎解きのテーマとし、皆さんと共にその背景、歴史的な位置づけや関係プレーヤーの役割、関連事項との関係性を「図解」的に示し説明していきます。(2017年春学期 テーマ：第2回TPP11が発効したら 第3回イギリスのEU離脱後のイギリスとEUは?) 1～4回の終了時に次回のテーマと関連資料をお渡しします。次回に向けての宿題です。宿題は、お渡しした記事や資料を徹底的に読み解いていただき、テーマをめぐる因果・連関関係を皆さんが図示していただくことです。当日は、追加資料を配布し、各自の発表(質問を含む)後、受講生全員でその現象の解明と先行きを議論します。



最終回(5回目)は全員のスピーチ大会&懇親会 磨いてきた「謎解き力」の発揮をしていただきます。これまでの受講生も参加し、経済名探偵仲間との交流をはかります。

*本講座は同志社大学大学院ビジネス研究科 浜教授の講義と同じスタイル、テーマで行います。

講師 **村田 晃嗣** 同志社大学法学部 教授



1964年神戸市出身。同志社大学法学部卒。神戸大学大学院法学研究科博士課程修了。1991～95年米国ジョージ・ワシントン大学留学。1998年神戸大学博士(政治学)。2005年4月同志社大学教授。2013年4月～2016年3月同志社大学長。専門はアメリカ外交・安全保障。1999年、『大統領の挫折』でサントリー学芸賞、アメリカ学会清水博賞。著書:『レーガン - いかにして「アメリカの偶像」となったか』(中公新書)国際紛争 理論と歴史(原書第10版 有斐閣)共 翻訳 他

開催概要	
回数:	全6回
定員:	100名
時間:	15:00～16:30
受講料:	6回一括のみ 18,000円

講師 **浜 矩子** 同志社大学大学院 ビジネス研究科 教授



1952年東京都出身。1975年一橋大学経済学部卒業。1990年三菱総合研究所ロンドン駐在員事務所初代所長兼駐在エコノミスト1998年三菱総合研究所首席研究員・経済調査部長。2002年秋より現職。専門は「国際経済学」「国際金融論」「欧州経済論」。近著:『どアホノミクスの断末魔』(角川新書 /2017)『世界経済の「大逆転」混迷の時代をどう生き抜くか』(PHPビジネス新書 /2017)他多数

開催概要	
回数:	全5回
定員:	15名 定員を超えるご応募があった場合は抽選で決定します。
時間:	19:00～20:30
受講料:	5回一括のみ 50,000円
講義:	1～4回 講師への質問を講義中に発表していただきます。 第5回 受講生スピーチ大会 2～5回のテーマは講義終了時に講師から発表されます。
*お申込み締切 10月13日(金)17時	

「昭和史と平成という時代 その5

—皇室と戦後の日本・日本人—

戦後の皇室はどのような変化をとげたのか、戦後の日本人の皇室に対する態度はどう変わったのか。太平洋戦争前と戦後以後の日本社会は大きく様変わりした。とくに大日本帝国では、天皇はこの国の主権者であり、国民にとっては神格化した存在であった。しかし戦争が敗戦に終わって以後は、天皇はこの国の象徴であり、直接には政治的存在ではなくなった。さらに市民的権利を保障した現憲法下ではその役割も限定された。そうした皇室のあり方を見つめていく。

第1回 10/20 金	近代日本の天皇制を考える 明治・大正・昭和、そして平成のそれぞれの時代の天皇の姿と国民の関係について改めて考える。そこからわかることは何か。
第2回 11/24 金	昭和天皇の戦後について 昭和天皇は二つの時代を生きた。大日本帝国憲法と新憲法の時代だが、天皇に要求された使命は異なっていた。その分析を試みる。
第3回 12/15 金	昭和天皇と皇太子 昭和天皇は皇太子(現天皇)にどのような歴史的継承を行ったか。戦争をはさんでの二人の関係の変化を考えてみるべきである。
第4回 1/19 金	皇太子と正田美智子さんの結婚 皇太子(現天皇)は初めて民間からお妃を選ばれた。このご結婚を通して日本社会はどのように変化したか、その変容を確認する。
第5回 2/16 金	昭和天皇の崩御と皇太子の即位 昭和62年4月29日のお誕生日に、昭和天皇は体調を崩された。それから1年8ヶ月ほどのちに崩御する。その間の日本社会を丹念に見つめてみたい。
第6回 3/16 金	今上天皇の即位、そして平成 昭和のあとは平成となったが、昭和史はまだまだこの社会の底流になっている。今上陛下ご夫妻のつくりあげていく「平成の社会」を徹底解剖する。

講師 **保阪 正康** ノンフィクション作家・評論家 日本近現代史研究者



1939年北海道出身。1963年同志社大学文学部社会学科卒「昭和史を語り継ぐ会」主宰 昭和史の実証的研究のため、延べ4000人の人々に聞き書き取材を行い独自の執筆活動を続けている。2004年、個人誌『昭和史講座』の刊行で第52回菊池寛賞受賞。天皇陛下の退位をめぐり政府が設置した「天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議」が行うヒアリング対象者に選ばれた。近著『田中角栄と安倍晋三 昭和史でわかる「劣化ニッポン」の正体』(朝日新書 2017)『帝国軍人の弁明: エリート軍人の自伝・回想録を読む』(筑摩選書 2017)他多数

開催概要	
回数:	全6回
定員:	100名
時間:	13:30～15:00
資料:	当日講師より配布いたします
受講料:	6回一括のみ 18,000円

「シーン別に学ぶ! 身近で役立つ英会話」

全15回
10/3~1/23
毎週 火曜日

対象 英会話の知識が少しあり、リラックスした雰囲気の中で楽しく英会話にふれる機会をお探しの方、外国人との会話で簡単に役立つ表現を学びたいと思っている方にお薦めの講座です。

概要 毎回、シーン別に状況に応じたフレーズを取り上げます。突然、道を聞かれた、や海外からの方に季節感ある挨拶をしたい、など、伝えたい内容を「外国人に伝わる表現」にしていきます。ネイティブがよく使う相槌なども使い、上手に会話を転がしていくTipsにもふれます。ペアワーク、ディスカッションを行う受講生が主役の90分です。

- <授業進行列>
- ウォーミングアップ/身近な英会話
 - レビュー/ホームワークチェック
 - 本日のメインアクティビティー
 - ロールプレイ/グループワークでシチュエーションづくり
 - ホームワークアサイン

「ダイアログから学ぶ英文法と実践英会話」

全15回
10/3~1/23
毎週 火曜日

対象 英語の知識は多少あるけれども、アウトプットが思うようにいかない。英文法も含め、英語学習を再スタートしたい、またはブラッシュアップしたいとお考えの方にお薦めです。

概要 「毎週、トレーニング継続」をキーワードに、日常会話で使う表現をダイアログから学びます。カンバセーションを中心に文法・発音・リーディング・ライティングを効率よく学習していきます。「知っている英語」から「使える英語」へ。自分の「ことば」で英語を発することで表現力を身につけていきます。テキストはユニット毎の完結型です。
*教材をすでにお持ちの場合、ご自身でご用意される場合は受講申込時に、教材不要を選択してください。



講師 **前田 久美** 英語講師

インターナショナルスクール高校課程卒業後、米科大学で秘書科を専攻。帰国後企業勤務を経て英語講師に。以来20年以上英語教育に携わり、大学や大手企業で幅広い層のクラスを担当。明るく分かりやすい授業と英語力を定着させる指導力に定評がある。

■英会話の講座は、受講料事前振込み制です。ご注意ください。■

- 1、開講決定次第、「振込み依頼書」を郵送いたしますので指定日までにお振込みをお願いします。
- 2、期日までに入金が確認できない場合、受講をお断りする場合があります。
- 3、入金確認後、約1週間を目安に「講座受講証」を送付いたします。